

項番	答申意見案	対応状況
1	<p>○基本的な考え方として、以下のような観点が重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観性や他者との比較といった視点 ・パラダイムシフトの必要性の認識 ・あるべき姿の共通認識とバックキャストによる思考 <p>○日本・山梨県の現実を他者との比較等により直視するべきである。</p> <p>○持続可能な社会保障制度を見据え、優先順位をつけて結果を出すことが重要ではないか。</p> <p>○一人の人間としての「豊かさ」とは何かを再考するなかで、「健康寿命の延伸」や「治療から予防への転換」を主眼にすべきではないか</p> <p>○地域包括ケアシステムについて、自立支援や在宅医療をもっと重視すべきではないか。</p> <p>○健康寿命の伸長や、治療から予防への転換というものを、もっと主眼にすべきではないか。</p> <p>○介護人材の確保に取り組むべきである。</p> <p>○予防医療とか遠隔医療などの先進的な分野でヘルスケアイノベーションを推進すべきである。</p> <p>○取り組みを進めていくためには、知事のリーダーシップが重要で、そのための組織体制が必要である。</p>	<p>○計画の基本的な構成の参考として活用。</p> <p>○時代の潮流等の記載の参考として活用。</p> <p>○戦略4に関する施策・事業の検討・実施の際の参考として活用。</p> <p>○基本理念で「豊かさの実感」に向けてという項目で考え方を整理。</p> <p>○戦略4政策1の施策「在宅医療の充実」</p> <p>戦略4政策2の施策「高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止の推進」を記載</p> <p>○戦略4政策1に「健康寿命の更なる延伸」、「自発的な健康づくり、生活習慣病予防」と記載。</p> <p>○戦略4政策2の施策「介護人材の確保・定着と資質向上」を記載。</p> <p>○戦略4政策1に「医療や健診等のデータを活用した生活習慣病予防など」と記載。</p> <p>○計画の推進の参考として活用。</p>
2	<p>○地元の森林資源で作られるエネルギーを使い、経済が地元で回る仕組みを作るためには、ユーザーが安心してペレットストーブを使える環境を整えることが大切である。</p> <p>○温暖化による気候変動の防止は必要であるが、「自分ごとではない」と考えられてしまうことが多い。あらゆる角度から進めていかなければならない。</p> <p>○環境に配慮していくという姿勢を強く打ち出していきたい。</p>	<p>○戦略1政策4の施策「木質バイオマスの利活用の推進」に記載。</p> <p>○戦略4政策3の施策「やまなしクールチョイス県民運動の展開」「クリーンエネルギーの導入拡大」を記載。</p> <p>○戦略4において「バランスの取れた自然環境の利用と保全」にj取り組む旨を記載。</p>
4	<p>○福祉の充実のためには「地域共生社会の推進」が重要であり、「相互理解の促進」、「差別の解消及び権利擁護の推進」や「ユニバーサルデザインの推進・アクセシビリティの向上」等に関する記述が必要である。</p> <p>○オリ・パラのレガシーの活用（スポーツの振興、QOLの向上）や、文化芸術の総合的な振興について、障害者関係について充実した記述が必要である。</p>	<p>○戦略4政策2の施策「共生社会の実現」に記載。</p> <p>○戦略2政策3に施策「障害者のスポーツ活動・文化芸術活動等の充実」を記載。戦略3政策1の施策「QOLの向上」に障害者スポーツ大会の開催等を記載。</p>

項番	答申意見案	対応状況
5	<p>○一次、二次の救急医療の疲弊の要因の分析と改善策、さらには、一次・二次の枠を超えた新たな仕組みを検討すべきである。</p> <p>○学校保健教育において、スポーツ運動医科学教育の取り入れを検討するとともに、運動の実践については、幅広くスポーツが出来、スポーツを知る、専門教員あるいは補助者を置く必要がある。</p> <p>○学校生活に悩む子供の駆け込み寺とも言われる学校保健室に、幅広い専門知識を有する養護教諭の増員の検討が必要ではないか。</p> <p>○山梨県医師会でもJMAT(日本医師会災害医療チーム)準備室を設置し、災害医療への備えを整備しつつある。</p> <p>○地域包括ケアシステムのなかで、医療と介護の連携が重要であるが、そのためには在宅医療を推進していく必要がある。</p>	<p>○戦略4 政策1 の施策「救急医療体制の充実」実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2 政策3 に関する今後の施策・事業の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2 政策1 の施策「いじめ対策・不登校支援のための体制整備」の実施にあたっての参考意見として活用。</p> <p>○戦略4 政策1 の施策「災害医療対策の強化」に記載。</p> <p>○戦略4 政策2 に施策「医療と介護の連携推進」、戦略4 政策1 に施策「在宅医療の充実」を記載。</p>
6	<p>○温暖化や再生可能エネルギーの問題を、SDGsの文脈の中でとらえることにより、よりグローバルでローカルな視点を養う教育活動が可能になる。</p> <p>○学校現場では教育改革が大きな課題となっており、自ら課題解決に取り組み、その中で多くを学ぶというスタイルが主流になっていくと言われている。</p>	<p>○総合計画のSDGsの関係を記載するとともに、計画の推進において政策の位置づけについても整理。</p> <p>○戦略2 政策1 などに関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p>
7	<p>○観光産業について、富士東部から県内全域に観光客を誘引するシャワー効果の促進する必要がある。</p> <p>○高齢者が生き生きと経済活動に参画できる環境づくりが必要である。</p> <p>○防災に強い県土づくりには、情報把握能力の強化も必要である。</p> <p>○健康寿命が高い水準にあるということを前に押し出した戦略を描いてはどうか。</p> <p>○健康・自然環境を生かす取り組みとして、自然環境が教育、観光、健康にも繋がるという考え方を入れると良いのではないか。</p>	<p>○戦略1 政策2 に施策「伝統的観光地の再活性化」を記載。</p> <p>○戦略3 政策1 の施策「生涯現役で活躍できる健康長寿社会の推進」で「高齢者の就労支援」について記載。</p> <p>○戦略5 政策2 に施策「事前防災情報の提供体制の充実」を記載。</p> <p>○取り組みの方向性の戦略④において、「日本一の水準にある健康寿命の更なる延伸など」と記載。</p> <p>○戦略4 政策3 に「良質な水や豊かな森林などの地域資源を活用し、環境・経済・社会が好循環する持続可能な社会づくりを進める」旨を記載。</p>
9	<p>○SDGsは誰1人取り残さないということを大きく打ち出しているのので、この総合計画の中でも打ち出してはどうか。</p> <p>○支え合いとか助け合いといった考え方が重要である。</p>	<p>○総合計画のSDGsの関係を記載するとともに、計画の推進において政策の位置づけについても整理。</p> <p>○戦略4 政策2 に「地域をともに創っていく地域共生社会」について記載。</p>

項番	答申意見案	対応状況
11	<p>○それぞれ施策がある中で、これがどう繋がっていくのかという横のつながりを県民に分かる形で伝えることが大事である。</p> <p>○医療と食に関しては、人材の育成、情報の共有、医療や福祉を受ける側の教育の3つが必要だと感じている。</p> <p>○総合計画を書くときに、具体的にどの方がどういうことをやるのかということが分かりやすければ、県民も興味を持つと思う。</p>	<p>○戦略のねらいや政策体系の記述により、それぞれの施策の役割を示している。</p> <p>○戦略4政策1及び政策2において、人材の確保、多様な主体の連携、自発的な健康づくり、等について記載。</p> <p>○各政策において関係者の役割分担等を記載</p>
12	<p>○人というのは、支えられているという実感があって初めて行動変容などが起きてくるという視点が入ると良い。</p> <p>○介護でも、サービスを使うというのは、自分が本来やるべきことを相手に委ねたり、手放している結果というところもあり、政策そのものを、自分のこととして考えられると良い。</p>	<p>○戦略4政策2に「住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく」旨を記載。</p> <p>○戦略4政策2に「地域の多様な主体が我が事として参画」と記載。</p>
14	<p>○山梨には、富士山もあり自然が豊かなので、AIのデータサイエンティストが集まりたがる。すごくチャンスに恵まれているのではないかと。</p> <p>○医療・ヘルスケア・保険のデータを使いながら予防や生活習慣の改善が進む仕組みを作りあげることができれば、最先端となる。</p>	<p>○時代の潮流として第4次産業革命、次世代ヘルスケア産業協議会等について記載。</p> <p>○戦略4政策1に「医療や健診等のデータを活用した自発的な健康づくり、生活習慣病予防」を記載。</p>
15	<p>○薬剤師についても高齢化や数の不足が課題であり、特に峡南、富士吉田地区で不足しており、医療従事者の確保が必要である。</p> <p>○これからは治療というよりも予防が非常に重要な地位を占めていく。</p> <p>○災害医療対策及び研修への活用として、モバイルファーマシーを導入し、配備を進める必要がある。</p> <p>○在宅医療については、20数種類ある職域との連携を今まで以上に図っていく必要がある。</p> <p>○自殺原因の約半数が健康問題であるが、薬歴の作成や、問診により比較的早い時期にチェック可能であり、薬剤師のゲートキーパーを増やす必要がある。</p>	<p>○戦略4政策1において「医療を担う人材確保・定着」と記載。</p> <p>○戦略4政策1において「生活習慣病予防などを進めます」と記載。</p> <p>○戦略4政策1の施策「災害医療対策の強化」実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略4政策1の施策「在宅医療の充実」に記載。</p> <p>○戦略4政策1の施策「在宅医療の充実」に記載。</p> <p>○戦略4政策2の施策「自殺予防対策」実施の参考意見として活用。</p>

項番	答申意見案	対応状況
16	<p>○可能性と課題は分けて整理する必要がある。</p> <p>○環境の保全やクリーンエネルギーの活用もその一環であり、地球温暖化対策というまとまりは大きすぎないか。</p> <p>○健康とは“心身の健康”と捉えたときに、心身の“心”についての政策に乏しい。</p> <p>○自殺の原因や予防対策が、“自分らしく暮らすことができる福祉”という政策に当てはまるのか。</p>	<p>○可能性と課題に分けるとともに、さらにいくつかの項目に分類して整理。</p> <p>○施策については、全体的なもの、その中の個別分野のもの、という順で整理。</p> <p>○心の健康については、政策2においても記載。</p> <p>○自殺対策基本法においても、「健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現に寄与」することを目的としている。</p>
17	<p>○地域で活躍する在宅医療医師、訪問看護師、地域保健・職域保険に携わる保健師等の充足は急務である。</p> <p>○介護予防等には栄養管理が不可欠であり、多職種での連携・支援体制の構築と具体的活動の実践が望まれる。</p> <p>○がんなどの疾病対策の推進について、医療従事者のスキルアップのための具体的な支援が必要である。</p> <p>○地域包括ケアシステムの深化・推進について、在宅で一人であっても人生の最期を望むところで迎えられるような対応策が望ましい。</p> <p>○自殺予防対策は最重要課題の一つであり、各種の予防施策が実施、推進できる取り組みが必要である。</p> <p>○自然環境の保全と地域資源の活用について、プラスチックごみ対策の推進は、強力に推進するための教育が必要である。</p>	<p>○戦略4政策1に施策「医療従事者の確保・定着・偏在の是正」「在宅医療の充実」を記載。</p> <p>○政策2に施策「医療と介護の連携推進」を記載。</p> <p>○戦略4政策1に施策「がん対策の推進」を記載。</p> <p>○戦略4政策2の施策「医療と介護の連携推進」の実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略4政策2に施策「自殺予防対策」を記載。</p> <p>○戦略4政策3に施策「プラスチックごみ対策の推進」を記載。</p>
18	<p>○豪州や欧米では「気候非常事態宣言」を行う自治体が増えている。山梨県も他県に先駆けて、この「気候非常事態宣言」を行うことが重要である。</p>	<p>○戦略4政策3に関する今後の施策・事業の参考意見として活用。</p>
19	<p>○健康の保持、介護予防のためには、運動、栄養、口腔の健康が重要であり、より積極的な健康づくりに向けた取り組みが必要である。</p> <p>○これからの医療従事人材を確保する上では、やる気のある将来を担う子ども達に対し、教育と就業機会の均等化を図る必要がある。</p>	<p>○戦略4政策1に施策「口腔の健康づくりの推進」を記載。</p> <p>○戦略4政策1の施策「医療従事者の確保・定着・偏在の是正」に就学資金の貸与等について記載。</p>
20	<p>○高齢化が進んだとしても、健康に年をとっていくことができれば、これは県民にとっても、県にとっても最も望ましく、新たな産業ともなるため、山梨県としては、健康寿命の延伸に力を入れていくべきである。</p> <p>○全般的に総花的な政策立案で、他の都道府県との比較で差別化がなく、どこを狙っていくのか視点が必要である。</p> <p>○施策の柱について、①健康が第一（治療から予防へ徹底転換）、②ITの駆使によるデータ活用、③健康の自己責任化の考え方の浸透、の3つを考慮すべきである。</p>	<p>○取り組みの方向性の戦略4に健康寿命の更なる延伸を記載するとともに、時代の潮流として次世代ヘルスケア産業協議会等について記載。</p> <p>○「豊かさ」の実現に向けて、において、総合計画としての考え方を整理。</p> <p>○戦略4政策1において、「医療や健診等のデータを活用した自発的な健康づくり、生活習慣病予防」と記載。</p>

項番	答申意見案	対応状況
21	<p>○予防に特化した医療機関を作り、県内外や外国からも人を呼び、遅れを指摘されている山梨の医療の目玉とすべきである。</p> <p>○「地域包括ケア」を軌道に乗せるためには、「行政」「地域」「医療」「福祉」のネットワーク構築を誰がどのように仕組むかが重要である。</p> <p>○在宅診療に興味のある医師や医療機関のネットワーク作りが重要である。</p> <p>○地域ボランティアの組織化が必要である。</p> <p>○福祉・介護を担う人材の確保が必要である。</p>	<p>○戦略1 政策1 の施策「医療・介護資源を活用した県外需要の取り込み」実施の際の参考意見として活用。</p> <p>○戦略4 政策2 に施策「医療と介護の連携推進」を記載。</p> <p>○戦略4 政策1 に施策「在宅医療の充実」を記載。</p> <p>○戦略5 政策3 に関する今後の施策・事業の参考意見として活用。</p> <p>○戦略4 政策2 に施策「介護人材の確保・定着と資質向上」を記載。</p>